

## 「寺子屋 in 平和が丘」取材しました！

「チーム名東」は2008年9月28日（日）に平和が丘コミュニティセンターにおいて、名東区社会福祉協議会が開催した「寺子屋 in 平和が丘」取材してきました。取材したのは、椋山女学園大学教育学部2年生の一谷梨絵、長谷川真咲、太田裕万の3人です。



このイベントは、小さな子どもから高齢者まで、地域に住んでいる誰もが、健康体操やボール遊びなど様々な活動を通して、ふれあいながら交流できるイベントです！今年で4年目になり、年間2～3回開催しています。

寺子屋は1限（10：00～11：10）と2限（11：20～12：30）に分かれており、参加者は好きなイベントを選んで参加することができます。1限には、「ポッチャ」と「地域実践講座～園芸教室（花の育て方）」がありました。「ポッチャ」とはボールを使った、誰にでも出来る簡単なスポーツで、子どもから大人まで一緒に楽しめる障がい者スポーツです。会場には、車椅子に乗った障がい者の方3名と、小学生2名、そして大人の方々が、青色のボールチームと赤色のボールチームとに分かれて、自分達の転がしたボールをどれだけ、白いボールに近づけられるかというカーリングのようなスポーツを楽しんでいました。「園芸教室」には、40代～60代くらいの女性10人が参加しており、「どのくらいの量でいつ肥料を与えるべきか」という肥料についての勉強をしていました。

2限には、「健康体操」と「認知症講座」がありました。「健康体操」では、ストレッチをしたり曲に合わせて体操したり、最後には「ポニョ」を踊ったりして、みんな爽やかな笑顔で楽しそうでした。

「認知症講座」では、認知症についての正しい知識を得て、認知症の方への接し方などについて学ぶことを目的に、講師の先生からお話を伺いました。



また1限と2限の両方に、「伝承あそび」と「親子サロン」という子供向けのブースが開かれていました。「伝承遊び」では子ども達がけん玉やコマ回しで遊んだり、おじいさんと将棋をしたりしていました。「親子サロン」には乳児から3歳くらいまでの子ども達がゆったりと遊べるように、おもちゃが準備され、絵本の読み聞かせもありました。

このイベント取材してみて、「こんな素敵な活動ならばもっとたくさんの方が参加すればいい

のに」という感想をもちました。主催者の方も、「子どもの参加が少ないため、どうしても年齢層が高くなってしまいます。貴船では、子ども会が主催しているため、子どもの参加が多いそうです。今後は平和が丘も子ども会や自治会と連携をとって、子ども達の参加が増えるようにしたい」とお話をされていました。この素敵な活動が、多くの人に認知され、盛んになるといいなあと考えながら、会場を後にしました。